

事業番号	16 01 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	安全・安心な社会づくりの推進事業	部局	警察本部	課・室	警務部・生活安全部・地域部・刑事部・警備部				
		実施期間	S29 ~	E-mail	Police-Keimu @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

令和5年中の刑法犯認知件数は、7,769件と2年連続で前年比増となり、電話でお金詐欺等（特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺）の被害が高水準で推移しているほか、犯罪実行者募集情報（いわゆる「闇バイト」）への応募者等による強盗等事件や人身安全関連事案、サイバー空間における脅威等が深刻化するなど県民の体感治安に深刻な影響を与えている。

2 事業目的

地域社会と一体となった各種防犯活動を展開するなど、総合的な犯罪防止対策を推進し、県民の治安上の不安解消を図り、安全・安心を実感できる社会づくりを実現する。

3 事業目的を達成するための取組

電話でお金詐欺（特殊詐欺）被害防止を始めとした犯罪防止対策

- ・AIを活用した電話対策等の推進
- ・被害対象者等への広報啓発活動の推進
- ・関係機関等との連携による水際対策の強化
- ・長野県警察セーフティアプリ（仮称）による犯罪被害防止に係る情報発信活動の実施
- ・街頭防犯カメラの設置を促進するため、「長野県警察街頭防犯カメラ設置促進事業」を実施
- ・いわゆる「闇バイト」への加担・被害防止対策の推進



SNSでのうけ話は、詐欺!! 9110 188

特殊詐欺等被害防止用CM

少年の非行防止・健全育成活動

- ・電話でお金詐欺（特殊詐欺）等の犯罪に加担させないための教室・啓発の実施
- ・SNS等を通じた子どもの犯罪被害を防止するための教育・啓発の実施
- ・「こどもを守る安心の家」表示板の整備や子ども安全対策のための広報啓発活動の推進



スクールサポーターによる防犯教室

サイバー事案防止対策

- ・サイバー事案、サイバーテロ捜査用資機材の整備、捜査員の育成
- ・サイバーボランティアとサイバー事案対策アドバイザーの委嘱と活動の推進



長野県警察サイバーボランティア委嘱式

熊対策装備品整備

- ・人の生活圏に出没した熊に対応する警察官の安全を確保するため、熊対策専用装備品を整備

航空機運用経費（1月補正）

- ・航空機運航の安全確保のため、長期間を要するヘリコプター部品の修繕を前倒しして実施

警察施設整備事業（1月補正）

- ・県有施設の長寿命化等事業効果の早期発現のため、警察施設の修繕・改修工事の実施

4 成果指標

（推移の凡例 : 改善 : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
1	非行防止教室	回	939	990		1,017		950 達成	少年の犯罪加担や被害を防止するため、非行防止教室を通じた教育活動が重要となることから、前年度と同水準かつ県内の各校（小中高校686校）1回以上の開催を目標とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
1-6	県民生活の安全確保	刑法犯認知件数	件	2023 (R5)	7,769	2024 (R6)	7,673	2025 (R7)	8,085	2027 (R9)	6,635
1-6	県民生活の安全確保	電話でお金詐欺(特殊詐欺)被害認知件数	件	2023 (R5)	227	2024 (R6)	224	2025 (R7)	276	2027 (R9)	90

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	220,047	3,680,386	509,746	4,410,179	3,839,486	3,282,159	-
R6年度	3,718	3,782,252	34,150	3,820,120	2,903,068	3,306,983	-
R5年度	112,561	3,222,129	60,840	3,395,530	2,156,542	3,074,691	-

事業番号	16 01 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	安全・安心な社会づくりの推進事業		部局	警察本部	課・室	警務部・生活安全部・地域部・刑事部・警備部

7 主な取組実績と成果

電話でお金詐欺（特殊詐欺）被害防止を始めた犯罪防止対策

○電話でお金詐欺（特殊詐欺）被害防止対策

- ・詐欺電話判別AI機能付きアダプタの設置補助等の電話対策を推進した。
- ・著名人を起用したテレビCMなどによる広報啓発活動を推進した。
- ・関係機関等との連携による水際対策を強化した。

○犯罪防止対策

- ・犯罪抑止効果が高い街頭防犯カメラの設置促進のため、「長野県警察街頭防犯カメラ設置促進事業」を推進し、申請のあった自治組織等35団体に対して補助金を交付し、県下に76台の街頭防犯カメラを設置した。
- ・侵入窃盗、自動車盗、車上ねらいなど、県民の身近で発生する犯罪手口や多発傾向にある犯罪について、令和7年2月から運用を開始した長野県警察安全・安心アプリ「ライボリス」により、積極的かつタイムリーに情報発信を行った。
- ・防犯意識の高揚を図るため、（公社）長野県防犯協会連合会と連携した小中学生を対象とした防犯ポスターコンクールの開催、各職域団体との連携による防犯活動の実施、地域安全運動や年末特別警戒の実施等、各種活動を推進した。



電話でお金詐欺被害
防止啓発用CM



鉄道事業者等と連携した
痴漢撲滅に係る啓発状況

少年の非行防止・健全育成活動

- ・学校等と連携して、少年による電話でお金詐欺（特殊詐欺）への加担や薬物乱用の防止、SNSに起因する犯罪被害防止等に係る非行防止教室等を1,017回実施し、少年の規範意識及び防犯意識の向上を図った。
- ・子どもを守る安心の家の表示板を整備したほか、鉄道事業者等と連携した痴漢撲滅キャンペーンを実施するなど、子供の安全対策や被害防止活動等を実施した。

サイバー事案防止対策

- ・サイバー犯罪、サイバーテロ捜査用資機材を整備した。
- ・長野県警察サイバー犯罪対策アドバイザーによる、警察官を対象とした捜査能力向上のための教養を実施した。



長野県警察サイバー犯罪

熊対策装備品整備

- ・熊に対応する警察官の安全確保のため、熊対策専用装備品を県下各警察署、県警本部に整備した。

航空機運用経費（1月補正）

- ・航空機運航の安全確保のため、長期間を要するヘリコプター部品の修繕契約を前倒しして実施した。

警察施設整備事業（1月補正）

- ・県有施設の長寿命化等事業効果の早期発現のため、警察施設の修繕・改修工事の実施した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標	非行防止教室	R6年度推移	R7年度推移	達成状況	達成
・少年を加害者にも被害者にもさせないために、非行や被害の情勢・要因等について啓発することが重要であると認識し、非行防止教室の開催を学校等に積極的に働き掛けた結果、目標値の950回を上回る1,017回となった。					

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・国際電話番号やビデオ通話を悪用したコセ警察詐欺等、電話でお金詐欺（特殊詐欺）の手口は日々巧妙化しており、高齢者だけでなく、あらゆる世代で被害が発生しているほか、児童虐待、ストーカー、DV等の人身安全関連事案が高水準で推移している。
- また、サイバー犯罪、サイバー攻撃は高い匿名性から悪質・巧妙化の一途をたっており、少年非行についてはSNS等を通じて匿名・流動型犯罪グループに加担するなど、依然として安心・安全な社会づくりには多くの課題がある。

(2) 事業改善の方策

- ・電話でお金詐欺（特殊詐欺）や匿名・流動型犯罪グループの犯行など、県民に不安を与える犯罪を防止し、県民が犯罪の被害に遭うことのない安全・安心な社会づくりのため、社会の変化が治安情勢に与える影響を捉え、事態に即応する諸施策及び地域住民や関係機関・団体と連携した各種活動による総合的な犯罪防止対策を推進する。

事業番号	16 01 01	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検		
事業名	安全・安心な社会づくりの推進事業			部局	警察本部	課・室	警務部・生活安全部・ 地域部・刑事部・警備部

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	生活安全対策事業		22,344 千円	36,674 千円	38,942 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	生活安全対策事業	直接 委託 補助金	・詐欺電話判別 A I 機能付きアダプタ設置補助事業の推進 ・特殊詐欺被害防止放送等業務委託により、テレビ放送局と連携して、特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺被害防止用 C M ・特集番組を制作 ・防犯対策事業を行う長野県防犯協会連合会への補助金 ・長野県警察街頭防犯カメラ設置促進事業の推進 ・長野県警察安心安全アプリ「ライボリス」による犯罪被害防止等に係る情報発信活動の実施 ・いわゆる「闇バイト」対策として、Web広告配信等による犯罪加担防止及び防犯建物部品の普及・活用を呼び掛ける広報啓発等の被害防止対策の推進 ・ストーカー・DV被害者の一時避難場所の確保等 ・犯罪使用電話に連続架電する自動架電システムを134回線、約586万回運用し、無力化を図った。 ・特殊詐欺抑止対策のため、民間放送局と連携したキャンペーンを2回実施 ・特殊詐欺被害及び犯罪加担防止対策のため、バナー広告によるウェブサイトやSNSでの注意喚起を実施（5,600万表示、15.3万クリック） ・長野県防犯協会連合会の自主防犯ボランティア育成・支援事業に対する補助金を活用し、防犯ポスターコンクールを共催、防犯カレンダー約2,600枚及び年末特別警戒ポスター5,500枚を作成の上、学校や関係機関等に掲示したほか、各種防犯会議等を開催 ・長野県警察街頭防犯カメラ設置促進事業を推進し、申請のあった自治組織等35団体に対して補助金を交付し、街頭防犯カメラを76台設置 ・ライボくん安心メール、ヤフー防災速報を配信したほか、新たに令和7年2月に運用を開始した長野県警察安全・安心アプリ「ライボリス」による情報発信とアプリの利用者拡大を推進（R8.3末 アプリダウンロード数5万7,883件） ・ストーカー事犯に係る警告件数は13件（R7年中） ・ストーカー・DV被害者等延べ135人に対して一時避難場所を確保（R7年度）		

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	子ども安全総合対策事業		30,559 千円	40,261 千円	42,104 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	子ども安全総合対策事業	直接	・学校等と連携した少年の非行防止教室、安全対策活動等を行うスクールサポーター経費 ・少年の規範意識向上のため、少年警察ボランティア等の関係機関・団体と協働して、少年の非行防止・健全育成活動を実施 ・少年の福祉を害する犯罪等の取締り経費 ・学校等と連携し、スクールサポーター等による少年の非行防止教室等を1,017回実施（R7年度） ・少年の福祉を害する犯罪等を積極的に検挙（R7年中検挙人員47人）		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	生活環境犯罪対策事業		18,102 千円	22,812 千円	29,052 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	生活環境犯罪対策事業	直接	・廃棄物の不法投棄などの環境犯罪捜査用資機材の整備		
			・環境犯罪捜査用資機材を整備		
2	サイバー事案等対策事業	直接 委託	・サイバー事案、サイバーテロ捜査用資機材の整備、捜査員育成に要する経費 ・サイバーボランティアとサイバー事案対策アドバイザーの委嘱と活動に要する経費		
		負担金	・警察官を対象とした捜査能力向上のための教養を4回開催 ・警察職員及び企業を対象としたサイバーだよりを22回発行（R7年中） ・サイバーボランティアと協働で県民に向けた広報啓発活動を4回実施		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	猟銃等講習関係事業		4,422 千円	4,566 千円	5,151 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	猟銃等講習関係事業	直接 委託	・所持許可者に対する銃砲刀剣類一斉検査に要する経費 ・廃銃処理に要する経費 ・初心者講習、経験者講習、射撃指導員講習、技能講習、技能検定に要する経費		
			・初心者講習（猟銃等講習6回）、経験者講習（猟銃等講習30回）、射撃指導員講習、年少射撃資格講習、技能講習を実施 ・令和7年中は技能検定の申請者なし		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	警備業講習関係事業		3,355 千円	3,692 千円	3,690 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	警備業講習関係事業	直接 委託	・施設警備（1・2級）、交通誘導警備（1・2級）、雑踏警備（1・2級）、貴重品運搬警備（1・2級）等の検定に要する経費 ・警備員指導教育責任者資格者取得（新規・追加）講習、機械警備業務管理者取得講習等に要する経費		
			・施設警備（2級）、交通誘導警備（1・2級）、雑踏警備（2級）、貴重品運搬警備（2級）の学科・実技検定を合計5回実施 ・警備員指導教育責任者（新規・追加）講習、機械警備業務管理者講習を合計9回実施		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
9	組織犯罪対策事業		43,394 千円	45,163 千円	53,960 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	組織犯罪対策事業	直接 委託 補助金	・通訳謝金、語学研修受講等 ・暴力団対策用システム、装備資機材の整備等 ・責任者講習委託料、保護対策用経費 ・公益財団法人長野県暴力団追放県民センターへの補助金 ・事件、事故捜査等に伴う通訳謝金を支払うとともに、部外講師による語学研修を8回実施 ・責任者講習を51回実施、保護対策用経費		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
10	科学捜査力充実事業		133,259 千円	144,819 千円	145,452 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	科学捜査力充実事業	直接 負担金	・人体に有害な薬品を取り扱うため、法律に基づく耐有害物質保護具の整備 ・DNA型鑑定試薬、危険ドラッグ試薬等消耗品を用い、鑑定を実施 ・鑑定用機器のリース料等に要する経費 ・鑑定用機器の保守点検、部品交換により、鑑定機器の維持管理を実施 ・鑑定技術向上のための各種学会への参加経費 ・鑑定能力向上、最新知見取得のため13学会の学術総会等に参加		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
11	犯罪被害者支援事業		7,815 千円	9,295 千円	12,864 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	犯罪被害者支援事業	直接 補助金	・犯罪被害者等支援に関わる広報・啓発活動の経費 ・犯罪被害者等の経済的・精神的負担軽減に要する経費 ・被害者支援員育成のための研修参加経費 ・NPO法人長野犯罪被害者支援センターの被害者支援事業に関する補助金 ・公費支出制度を運用し、被害者の経済的、精神的負担軽減を図った（身体犯等被害者診断書料等27万9,226円、性犯罪被害者に対する検査・避妊薬等73万4,630円、カウンセリング等費用143万6,630円、一時避難場所宿泊料12万865円、被害者遺体搬送費用9万9,000円、死体検案書料108万3,500円等）		

細事業 No.	細事業名	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
12	地域警察強化事業	272,294 千円	281,679 千円	275,658 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	地域警察官の現場執行力強化	直接	・交番相談員の配置 ・地域警察官が勤務時に着装する耐刃防護衣等受傷事故防止資機材を整備 ・無線中継局回線料等	
			・95交番に87名の交番相談員を配置し、来訪者対応等に従事 ・交番・駐在所等に設置されている無線中継局により、携帯型無線機や高度警察情報通信基盤システム（P ）を効率的に運用	

細事業 No.	細事業名	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
13	通信指令システム維持管理経費	471,149 千円	472,116 千円	456,758 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	通信指令システム維持管理経費	委託	・通信指令システム等の維持管理経費 ・高度警察情報通信基盤システム等の回線料	
			・110番総件数112,181件、前年比-155件 - うち有効件数95,278件、前年比+1,474件	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
14	警察力強化事業		17,345 千円	17,557 千円	24,066 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	優秀な人材確保	直接 委託 負担金	・警察官募集広報活動経費、試験会場経費等 ・公務員試験対策が不要なSPI検査を採用試験に導入 ・インターネット広告を活用した情報発信の強化 ・有料転職サイトへの広告掲載を契約し、転職希望の社会人を対象に求人情報を配信 ・地域新聞へのインパクトのある採用募集広告の掲載による情報発信力の強化 ・職員のインタビュー動画の県警公式YouTubeや採用募集パンフレットへのQRコードの掲載による情報発信の強化 ・企業開催による企業説明会への参加経費 ・長野、松本、東京、愛知の4会場で採用試験を実施 ・LINEの有償プランを契約し、受験者に対するタイムリーかつ効果的なメッセージを配信（令和7年度122回配信） ・映画館での採用募集CMの放映による警察官採用募集のアピール（7日間） ・採用辞退防止のための最終合格者に対する体験型イベントの開催（11月、2月） ・警察の魅力発信のための警察学校におけるオープンキャンパスの開催（8月、3月） ・東京、大阪、名古屋、金沢の4主要都市にて出張型個別相談会を開催（2月） ・オンライン説明会等の開催による県外の受験対象者の参加率及び利便性の向上（令和7年度オンライン説明会15回開催） 令和7年度警察官採用試験受験者471名 （前年度比 56名・10.6%）、競争倍率2.8倍		
2	警察官育成・教養事業	直接 負担金	・部外講師等による教養 ・訓練用機器のリース、術科訓練用消耗品の整備、各種大会参加への負担金 ・緊急自動車運転転技能向上のための訓練経費 ・部外講師等による教養を42回実施		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
15	航空機運用経費		330,108 千円	701,311 千円	789,435 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	航空機運用経費	直接 委託 負担金	・航空機運航維持管理に要する修繕料、燃料費、消耗品費、特別点検料等の経費 ・整備士等講習経費 ・ヘリコプターテレビシステム保守点検経費 ・航空機飛行時間369時間50分（2機合計）		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
16	警察広報・相談活動充実事業		8,949 千円	2,505 千円	2,306 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	警察広報・相談活動充実事業	直接 委託	・県警ホームページ運用、広報用イラスト作成等に要する経費 ・長野県警察フェスティバル等の広報イベントに要する経費 ・県警ホームページ令和7年12月末のアクセス件数807万8,599件（前年より約20万件増加） ・県警シンボルマスコットの新ポーズを32パターン追加し、合計92パターンとなり、活用が広がった。 ・電子メールによる申し出受理件数は、令和7年12月末で1,496件と多くの意見、要望、苦情等を受信し、行政サービスが向上 ・長野県警察フェスティバルを開催し、約4,500人の来場があった。		
2	警察音楽隊活動経費	直接	・県警音楽隊の活動に要する経費 ・令和7年中は、ふれあいコンサートを開催するなど、派遣回数70回、約2万600人の聴衆に演奏を披露し、警察広報を実施		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
17	飯田警察署・南信運転免許センター建設事業		7,238 千円	61,893 千円	154,058 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	警察署建設工事	直接 委託	・設計業務、建設工事 ・設計業務完了、建設工事の契約5件を締結		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
18	交番・駐在所再編整備事業		447,087 千円	399,126 千円	348,735 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	交番・駐在所再編整備事業	直接 委託	・交番、駐在所庁舎の建設工事 ・庁舎の長寿命化改修 ・2駐在所を新築、4駐在所を改修		

細事業 No.	細事業名	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
19	警察施設整備事業	620,143 千円	713,229 千円	645,167 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	警察施設整備事業	直接 委託	・交番等へのネットワークカメラ設置 ・警察庁舎等の改修 ・老朽化等による警察施設の修繕や警察署等の照明LED化工事等を実施 ・交番ネットワークカメラ設置事業（6警察署17交番）	

細事業 No.	細事業名	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
20	熊対策装備品整備事業	- 千円	- 千円	16,500 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	熊対策装備品整備事業	直接	・熊に対応する警察官の安全確保のため、熊対策専用装備品を整備 ・ヘルメット、頸部防護用パラクラバ（目出し帽）、防護ジャケット、防護パンツ、 防護手袋、脛プロテクターの装備品を22警察署に各1式、警察本部に3式整備	